



学校だより

おやまがおか

～全ては、子どもたちの笑顔のために！～

町田市立小山ヶ丘小学校

校長 大川 優

2025（令和7）年

5月30日 発行

第278号

〒194-0215 町田市小山ヶ丘五丁目37番 電話 042-770-6251 FAX 042-770-6258

「子どもたちの成長」

校長 大川 優

先週の土曜日、本校の子どもたちが最も多く進学する指定校である「堺中学校」の運動会を参観してきました。暑い日が続いていた週でありましたが、当日の天候は曇りで、じっとしていると肌寒いくらいでした。（熱中症の心配がない中で開催できることは、我々教職員にとっては大きな安心材料でした。）

真剣な眼差しで競技に取り組む中学生の姿をととても頼もしく思いました。2・3年生は、心身ともに成長し、がおかの卒業生かどうか、すぐにはわからない子が多かったです。1年生ですら、卒業して2ヶ月しか経っていないのに、妙に大人びて見えたのは気のせいでしょうか。子どもたちの成長は、時間だけで計れるものではないことを痛感しました。思春期における心身の急激な変化だけでなく、環境や心境の変化が、子どもたちの成長に大きく影響を与えるのではないかと感じました。小学校としても、最終学年である6年生の1年間を、自信と期待をもって進学できるように支援する最終段階であると捉え、低学年・中学年・高学年と、意図的・計画的に指導・支援してまいります。

さて、昨年度の学校だよりでお伝えいたしましたが、町田市では、小・中学校の9年間を見通して、小・中学校の教育活動の連続性を確保し、「小中一貫町田っ子カリキュラム」（規範意識）（キャリア教育）（健康教育〈食育〉）に基づき、心身の発達段階に応じたきめ細やかな指導を行うことができるように、小中学校間の連携を推進しています。本校は、堺中学校・相原小学校との3校で1つのグループとなっており、その3校で教職員を中心に連携活動を昨年度から再開（コロナ禍で中断）しています。

今年度は、6月19日（木）に小中一貫（連携）教育の取組としての学校間交流を、相原小を会場として実施いたします。（昨年は、小山ヶ丘小に来校いただき、全学級の授業を公開し、参観いただいた後、アリーナに全員参集し話し合いの場を設定いたしました。）当日、本校は午前授業として、全教員が相原小に伺います。義務教育期間の9年間、この素晴らしい小山・小山ヶ丘小地域（堺中校区）で育つ子どもたちの指導・支援に携わる大人が交流を深め連携を強化することは価値ある取組です。子どもたちの「笑顔」が、本校卒業後も続くことを願い、今後も小中一貫（連携）教育の推進に努めてまいります。皆様のご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。なお、当日の具体的な様子につきましては、改めて保護者・地域の皆様にお伝えいたします。